

すいかづら

第33号

General Incorporated Association
Shrine and Temple
Architectural Decoration
Heritage Skill Association

令和6年3月発行

編集：(一社)社寺建造物美術保存技術協会

発行人：アトキンソン デービッド マーク

〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田KMビル3F

株小西美術工藝社内 (事務局)

Tel: 03-5765-1481 Fax: 03-3455-9250

<https://shabikyo.com/>

社美協相談役に豊城浩行氏が就任されました

就任のごあいさつ

伝統技術と職人気質

日本の職人の現状はどうであろうか？

産業の近代化と共に、手作業でものを作り出す仕事は減った。職人とは本来、手作業でものを作り出すことを職業とする人のことであつたが、現代では広く身についた技術で事をなす人のこととも呼ぶようになった。

職人気質という言葉は、職人に対する最高の褒め言葉であると私は思う。職人気質の者が備える技が職人芸である。自らの技術に自信と誇りがあればこそ持てる頑固さと共に、誠実さや気高さが伴つてこそ、使うべき言葉であると思う。自分の仕事に責任を持つ者だけが貰える、称号的な言葉でもあると思う。

文化財保護という考えは、明治時代以降の近代になつてからのものである。国や社会の発展を考えるために、これまでの歴史や文化を知ることは必須である。また、文化的な素養は精神の健全に大いに貢献し、安定した平和な社会に必要なものである。文化財保護の精神はその一端を担う。

文化財保護は多くの人の理解がなければ進展しない。そのためには文化財を保存する技術を多くの人に知つてもらう必要もある。「見れば分かるだろう」と言つた古くさい職人気質でない、かつての技術、他の者の技術をリスクトし、人に説明でき、理解して貰える職人気質を皆さんには持つて頂きたい。

一つの要望としてかつての技術を大切にし、その技術を具体的に残せるような保存技術の工夫も考えて欲しい。

多くの人が主に文化財でしか見ることが出来なくなつてしまつた伝統技術を継承する当団体が、社会的な責任を自覚し、誇りを持ち、尊敬される業界に成長することを期待し、微力ではあります、何か御協力出来ればと考えております。どうぞよろしくお願ひ申上げます。

相談役 豊城浩行
(元文化庁 文化財鑑査官)

社美協5部門で研修実施 初級・中級技能者 計67名が受講

社美協には【漆】【彩色】【剥落止め】【単色塗】【鎔・金具】の五部門がありますが、新しい技能者認定資格制度に移行してから、ようやく全部門での研修が実施できました。

同ページの写真は昨年九月に実施された【鎔・金具】部門の初級技能者研修の様子です。新制度に移行後、鎔・金具部門では初めての研修となり、中級技能者3名と、初級技能者6名の計9名が参加し、「魚々子打」や「鑿彫り」等、鎔金具の修理製作における基本技術を学びました。「魚々子」とは『金属の地にまるく、細かい点のような粒を、一定の間隔であったかも線を描いているかのように配列したもの』です。一見単純な作業にも思えますが、高い集中力と両手の感覚が求められる重要な技術です。

(5ページへ続きます)
※文化財用語辞典264ページより



● 令和5年度 年間事業報告 ●

令和5年	活動 (●は国庫補助事業)	場 所
5月12日	第1回 理事会・社員総会	京都 元山王小学校内 社美協事務所
5月22日	第6回 浄法寺漆振興会議（五者協定会議）	岩手 二戸市役所
6月5日	通常会員総会	京都 元山王小学校内 ふれあいサロン
7月10日、11日	●新規採用者のための文化財修理研修会	京都 TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター
7月11日	第2回 理事会	京都 TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター
8月23日	豊城浩行氏（元文化庁文化財鑑査官） 社美協相談役就任	
9月4日～13日	初級技能者認定研修 ●固有技術向上研修会【鎌・金具部門】	栃木 (有)鈴木鎌金具工芸社
9月4日～15日	初級技能者認定研修 ●固有技術向上研修会【漆部門】	栃木 (公財)日光社寺文化財保存会 作業棟
10月6日	第3回 理事会	京都 元山王小学校内 社美協事務所
10月23日～27日	中級技能者認定研修 ●固有技術向上研修会【漆部門】	京都 元山王小学校内 社美協事務所他
10月23日～27日	初級技能者認定研修 ●固有技術向上研修会【彩色部門】第Ⅰ期	栃木 (公財)日光社寺文化財保存会 作業棟
11月6日～9日	中級技能者認定研修 ●固有技術向上研修会【彩色部門】	京都 元山王小学校内 社美協事務所他
11月15日～18日	初級技能者認定研修 ●固有技術向上研修会【剥落止め部門】 11/16 公開講義【北野信彦講師】	京都 元山王小学校内 社美協事務所 TKP ガーデンシティ京都タワーホテル
11月18日、19日	文化庁移転記念 日本の技フェア	京都 京都市勧業館 みやこめっせ 第三展示場 A面
11月28日～30日	初級技能者認定研修 ●固有技術向上研修会【単色塗部門】	京都 元山王小学校内 社美協事務所他
12月6日～9日	中級技能者認定研修 ●固有技術向上研修会【剥落止め部門】 12/6 公開講義【藤井義久講師】 12/8 公開講義【早川典子講師】 12/9 公開講義【中村賢良講師】	京都 元山王小学校内 社美協事務所 TKP ガーデンシティ京都タワーホテル
12月11日～15日	初級技能者認定研修 ●固有技術向上研修会【彩色部門】第Ⅱ期	栃木 (公財)日光社寺文化財保存会 作業棟他
令和6年		
1月19日	第4回 理事会	京都 元山王小学校内 ふれあいサロン
2月1日	日光社寺文化財保存会 次年度研修打合せ	栃木 (公財)日光社寺文化財保存会

※他団体の実施する会議などへの参加は、主要なものののみ掲載

令和6年度社寺建造物装飾技術者事業計画（国庫補助事業）

①
養
伝
承
者
成

1. 文化財修理共通座学研修会 <対象：全部門経験年数1年目～経験年数10年目程度>

文化財修理に携わる技能者として、文化財保護や行政の仕組み、建築・装飾技術の歴史的展開、材料、また技能者としての心構えについて、内外部より講師を招き、幅広い知識を習得する。
・新規採用者のための文化財修理研修会ほか

②
能
技
術
の
練
磨
技

2. 固有技術向上研修会 <対象：各部門 経験年数1年目～10年目程度>

「漆塗り」「彩色」「剥落止め」「単色塗」「鎌・金具」の各部門の技能者を対象に各専門技術における材料や道具の扱いから基本的な作業手順、それらを発展させた技術を習得する研修を行う。

②
成
記
・
録
刊
の
行
作

- ホームページによる活動報告
- 報告書と会報「すいかずら」による研修事業の成果報告（年1～2回発行）

ごあいさつ

社美協は、『業界の健全なる発展』と『責任ある施工』という二つの大きな使命を果たすべく、協会における研修制度と資格制度の整備を進めております。これは、研修制度によって技能者の育成を計り、研修修了後に、各技能者の習得した技術を確認した上で、資格を与えることで資格制度が成り立ちます。

そして技術認定された資格によって、個々の技能者が担う責任を明確にすると同時に、技能者登録の実態を正しく把握し、また、正会員各社に所属する技能者を公開することによって各社の実情の透明性維持を目的としています。

令和五年度は研修制度が大きく展開された年であります。

研修制度事業はまず基礎となる初級技能者から立ち上げを開始しました。当協会としては資格の客觀性を担保するため、公益財団法人 日光社寺文化財保存会様のご協力をいただいて開催している「漆塗」と「彩色」の初級技能者研修は、今年度で三回目の開催となりました。『技能者による技能者のための研修』をモットーに掲げ、日光社寺文化財保存会所属の技能者の方々にお力添えをいただきながら、当協会の研修が実行されています。

また、今年度から、漆部門と彩色部門と剥落止め部門の中級技能者の研修を初めて開催することができました。原則として、経験年数6年目から10年目の技能者のための研修ではありますが、今年度はこれまでプログラムがなかつたために研修に参加することができなかつた、主に10年目以上の研修生を迎えて、准上級技能者になるための研修を行いました。6年目から10年目までの研修プログラムをすべて実施して、習得技術が認められた技能者を准上級技能者に認定できる内容にいたしました。

そして、今年度のもう一つの大きな展開は、鋸・金具部門、単色塗部門についても研修を開催することができます。

これらの研修によって、17名が中級技能者に認定されました。准上級技能者には新たに10名が認定を受けました。

令和六年度では、初級技能者の研修を継続的に実施するとともに、中級技能者の研修をより充実して実施して参ります。

研修制度と資格制度を整備する事業は文化財保存事業にとって歴史的に大きな意味を有します。文化財建造物保存修理においてプロフェッショナルな有資格技能者が施工する制度を作り、技能者の社会的地位を明確化するとともに、社会全体にこの資格制度について説明する仕組みとなりますよう、引き続き全力で推し進めて参ります。

代表理事 アトキンソン デービッド マーク

提出・案内済の主な要望書／通達書について（会員宛）（令和5年度）

(R5) 発行日	書類の表題名	備考（内容等）
5月19日	新人研修の重要性について*	新人研修受講が準会員登録の必須条件となりました
6月 1日	新規採用者の準会員登録について*	新規加入者の経験有無により登録手順が分かれます
6月14日	見積時における社美協単価について*	社美協代価表の参考価格順守の要望とその背景
7月20日	文技連からの調査協力依頼について*	文化庁宛の要望書作成のための必要情報提供依頼
8月10日	上級技能者の申請における准上級技能者の実績について*	准上級相当の中途採用者における上級申請の条件等
8月29日	豊城浩行氏 相談役就任のお知らせ*	本誌表紙にて就任のご挨拶をいただいております
9月15日	漆の発注に関するお願い（漆部会会員宛）*	需給調整された漆の適切な発注・在庫管理の要望
12月22日	要望書（文技連→文化庁長官宛）	業界持続のための必要修理工事予算額の提示・要望

*…社美協会員宛

主要な調査／案内等スケジュール（令和6年度）

(R6) 実施時期	内 容	
3月	令和6年度上級審査案内	登録状況に基づきご案内します（対象：正会員）
4月～5月	第7回淨法寺漆振興会議	（日程未定）漆の需給状況等が話し合われます
4月～6月	令和6年度研修日程案内	令和6年度の研修日程をお知らせします
5月	会員情報調査	登録状況を確認します（対象：正会員）
6月	年会費納入案内	登録状況の確認内容に基づきお知らせいたします（対象：正会員・賛助会員）
7月～8月	認定証交付	登録状況に基づき発行
12月	次年度採用予定調査	（対象：正会員）
2月	漆年間使用量調査	（対象：漆部門に登録のある正会員）
3月	認定証交付	研修、審査の結果に基づき発行

文化庁移転記念 日本の技フェア 京都で開催される



令和五年度の「文化庁移転記念 日本の技フェア」は文化庁京都移転の記念として、十一月十八日（土）、十九日（日）の二日間、京都市勧業館みやこめつせにて開催されました。今回、社美協では鋳金具製作の実演（写真①）に加え、縹綺（ひんげ）（グラデーション）彩色の体験活動（写真②）と充実した内容となりました。また、文化庁主催の公開インタビューも実施され、社美協からは准上級技能者1名が登壇しました（写真③）。



③ 山本真由美氏 (有)彩色設計

新規会員紹介（賛助会員）



会社案内

- 設立 1982（昭和57）年7月
- 所在地 〒915-0261 福井県越前市朽飯町11-25
- 電話番号 0778-43-0055（代）
- メールアドレス HPのお問い合わせフォームよりご連絡ください。
(<https://urushiya.jp/>)

株式会社 箕輪漆行（福井）
箕輪漆行は、近世の漆搔き発祥の地、福井県越前市（旧今立町）の自然豊かな地で、天正時代から漆に携わってきました。漆の精製と販売、それに多種多様な漆工材料の充実した品揃えがあります。
企業理念は、「お客様に、尽くす」事です。現在1万軒以上のお取引先がある中、お客様それぞれのご要望に合わせた漆を、熟練した知識と経験で、迅速にご要望に対応させていただいております。
そして、全国の産地と取引があり、豊富な情報データがあります。また、金継ぎ教室を月2回開催し、地域に漆文化を広げております。

社寺建造物美術保存技術協会の皆様に、お役に立てるよう努力して参ります。会員、賛助会員の皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「新規採用者のための文化財修理研修会」

期 間：令和5年7月11日・12日
 場 所：TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター ミーティングルーム8G（京都市）
 講 師：（公財）文化財建造物保存技術協会 増渕靖裕氏（一財）中小建設業特別教育協会 友永義久氏
 研 修 生：計19名（内、外部保存団体からの参加0名）



本年の「新規採用者のための文化財修理研修会」は計19名での開催となりました。

一日目は昨年に引き続き（公財）文化財建造物保存技術協会より増渕靖裕先生にお越しいただきました。文化財建造物の体系と指定の概要からはじまり、保存修理工事の計画から施工までの流れや、文化財の活用を踏まえた修理工事等を学びました。復元工事を考える課題では、講義を踏まえた上で「現状からどこまで修理・修復を行うのか」を各研修生で検討しました。

二日目は、現場入場時に知つておくべき安全・衛生の知識や法令等を学習しました。搔き落とし等の粉じん作業時における「じん肺」のリスクやその対策については、研修生の真剣な様子が見られました。

国庫補助事業研修会【技術・技能の鍛磨】

固有技術向上研修 初級・中級技能者認定研修

各部門の実施概要

錆・金具部門
 期 間：令和5年9月4日～13日※土日は除く（初級）
 場 所：（有）鈴木錆金具工芸社 他（日光市）
 講 師：（有）鈴木錆金具工芸社 鈴木正男氏
 （株）後藤錆金具製作所 後藤正太氏
 京都社寺錆漆（株） 治村嘉史氏
 補助講師：（有）鈴木錆金具工芸社 鈴木 崇氏
 中澤美奈子氏
 株小西美術工藝社 松井紀明氏
 研修生：計9名

彩色部門
 期 間：令和5年10月23日～27日【第Ⅰ期】（初級）
 令和5年12月11日～15日【第Ⅱ期】（初級）
 場 所：（公財）日光社寺文化財保存会 作業棟 他（日光市）
 講 師：（公財）日光社寺文化財保存会
 彩色主幹技能士 手塚茂幸氏
 （有）川面美術研究所 荒木かおり氏
 補助講師：（公財）日光社寺文化財保存会 安藤由香梨氏
 研修生：計17名

期 間：令和5年11月6日～9日（中級）
 場 所：社美協事務所（京都市） 高野山金剛峯寺（高野町）
 講 師：（公財）和歌山県文化財センター 多井忠嗣氏
 （有）川面美術研究所 荒木かおり氏
 株小西美術工藝社 渋谷大輔氏
 講評者：京都女子大学 鶴岡典慶氏
 研修生：計5名

漆部門
 期 間：令和5年9月4日～15日※土日は除く（初級）
 場 所：（公財）日光社寺文化財保存会 作業棟（日光市）
 講 師：（公財）日光社寺文化財保存会
 漆管理技術者 佐藤則武氏
 研修生：計21名

期 間：令和5年10月23日～27日（中級）
 場 所：社美協事務所 他（京都市）
 講 師：（株）小西美術工藝社 表雄一郎氏
 補助講師：（株）さわの道玄 長屋 進氏
 （株）小西美術工藝社 山田 洋氏
 講評者：京都府文化財保護課 小宮 陸氏
 研修生：計3名

剥落止め部門
 期 間：令和5年11月15日～18日（初級）
 場 所：社美協事務所・TKP 京都ガーデンシティ京都タワー
 ホテル（京都市）
 講 師：（有）彩色設計 小野村勇人氏 北山 潤氏
 （一社）天野山文化遺産研究所 山内 章氏
 （有）川面美術研究所 多田牧央氏他（7ページ参照）
 研修生：計5名

期 間：令和5年12月6日～9日（中級）
 場 所：社美協事務所・TKP 京都ガーデンシティ京都タワー
 ホテル（京都市）
 講 師：同上 他 研修生：計2名

單色漆部門
 期 間：令和5年11月28日～30日（初級）
 場 所：社美協事務所 他（京都市）
 講 師：（株）さわの道玄 吉川 諭氏
 補助講師：（株）片山 片山龍馬氏 研修生：計5名

国庫補助事業研修会【技術・技能の鍛磨】



令和五年度は、全五部門、計八つの研修を開催することができました。研修講師は補助講師や講評者を含め、計28名、研修生は計67名の参加となりました。昨年に引き続き、漆・彩色部門の初級技能者認定研修では（公財）日光社寺文化財保存会様にご協力を賜り、本年も継続実施が可能となりました。また本年度は他部門の研修でも外部の方に多大なるご支援をいただきました。研修実施とその成果を資格制度に反映させていくためには、講師・講評・視察等に



彩色 【中級】	漆 【初級】	彩色 【初級】
単色塗 【初級】	剥落止 【初級・中級】	漆 【中級】

国庫補助事業研修会【技術・技能の鍛磨】



多井忠嗣講師

鶴岡典慶氏



荒木かおり講師



渋谷大輔講師



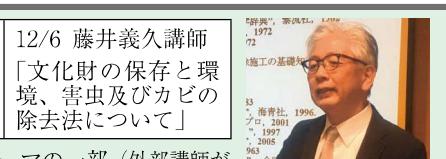
さて、社美協研修では、研修生に研修受講後のレポートを提出いただいております。どの部門の研修においても、同業他社の職人同士の交流という面で好意的な反応が見られ、自分の技術力を他の職人と比較できたことが刺激になったという感想が多くありました。今後も研修が技術習得に限らず、そのような機能も果たす場となつてもらえれば嬉しく思います。



吉川諭講師



11/16 北野信彦講師
「建造物装飾技法史」



12/6 藤井義久講師
「文化財の保存と環境、害虫及びカビの除去法について」



12/8 早川典子講師
「①接着と洗浄②文化財の化学分析、近年の修理技術動向」



12/9 中村賢良講師
「金箔と金泥について」



山内章講師



小野村勇人講師



北山潤講師

多田牧央講師



結城啓司氏(文化庁)による視察*

*清永洋平氏(文化庁)も同日に視察いただきました。



